

都市再生整備計画 フォローアップ報告書

坂田地区

平成28年3月

埼玉県桶川市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4ー① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指 標			従前値	目標値	事後評価						フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み						理由	改善策の方向性	
指標1	世帯数	世帯	1,748	1,950	2,108	確定	●	○	あり			H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	土地区画整理事業による狭隘道路の解消や良好な宅地基盤の形成、住民意見をふまえた公園整備などにより、地区内の世帯数の増加につながった。
						見込み			なし							
指標2	緊急車両の通行可能路線数	本	59	79	77	確定		△	あり	●	81	H28年2月	○		☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	土地区画整理事業を中心とした狭隘道路の解消を着実に進めることにより、緊急車両の通行可能路線数の着実な増加につながった。
						見込み	●		なし							
指標3	交通事故発生件数	件	88	75	82	確定	●	△	あり			H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	土地区画整理事業を中心とした歩道の整備や狭隘道路の解消などにより、市全体の交通事故発生件数は減少傾向である。
						見込み			なし	●						
指標4						確定			あり			H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	
						見込み			なし							
指標5						確定			あり			H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	
						見込み			なし							

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4ー② その他の数値指標の確定

指 標			従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
					評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1	防災施設(防災倉庫)整備率	%	43		86	確定	●			H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	防災倉庫が未整備の指定避難場所について、防災倉庫の着実な整備を行うことで、未整備個所の解消につながった。
						見込み								
その他の数値指標2						確定				H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	
						見込み								
その他の数値指標3						確定				H 年 月			☐ 改善策はそのまま ☐ 改善策に補強が必要 ☐ 新たに改善策をたてる	
						見込み								

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4－③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5－③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	緊急車両の通行や歩行者の安全性に課題のある狹隘 道路の解消	区画整理事業地内とその周辺の狹隘道路4路線の整備を実施。	幅員を拡幅したことで緊急車両の通行が可能となっ た。横断歩道や歩行空間の明示、歩道を整備した ことで歩行者の安全性が向上した。	・狹隘道路の整備を引き続き実施し、歩行者等の安全確保を図 る。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するた めの改善策 ・残された課題・新たな課題への 対応策 ・その他 必要な改善策	3・4・23坂田寿線の第3工区の整備	用地買収の着手。	用地交渉を実施し、用地を約29%取得した。	安全な歩行空間を連続的に確保するために、ボトルネックとなっ ている3・4・23坂田寿線の整備を引き続き実施する。
	桶川駅東口周辺の安全性確保・利便性向上	・駅東口広場整備事業について、用地測量の委託と用地買収に 着手。 ・主要道路である県道桶川停車場線の整備事業に対して負担金 を拠出。	・駅東口広場整備事業は、用地交渉を実施し、用地 を約60%取得した。 ・県道桶川停車場線整備事業は、県が事業認可を 取得し、用地買収に向けての建物調査委託を実 施。	桶川駅東口の安全性確保、利便性の向上を図るため、市の顔と なる駅前広場整備や主要道路の整備を引き続き実施する。

事後評価シート 添付様式5－③から転記

様式4－④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項